

県立高等学校入学者選抜に関するアンケート調査結果の概要について

(1) 調査の概要

①調査の目的

現行の高等学校入学者選抜について、実施状況及び改善の方向性等についての意見を集約し、県立高等学校入学者選抜協議会における研究協議の参考とする。

②調査対象

- ・令和8年度高等学校入学生（回答数 3058 件）
- ・令和8年度高等学校入学生の保護者（回答数 2221 件）

※私立高等学校を含む

③実施時期

令和8年4月23日（木）～令和8年5月15日（金）

④調査方法

Google Forms によるアンケート調査

⑤調査内容

県立高等学校入学者選抜制度に関する内容

(2) 自由記述による回答の集計方法について (Q5、Q6)

- ・「GPT-5.5 Think Deeper」及び「Microsoft Copilot」を活用
- ・回答を内容別に分類し、意見の多いものから順に概要をまとめて集計
- ・1つの回答に複数の内容が含まれる場合は、内容ごとに重複して意見件数を計上
- ・回答の主な記述を5つ程度掲載
- ・質問と無関係な回答や「なし」等の回答は集計から除外

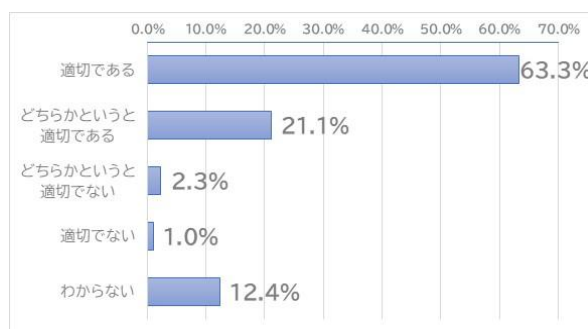
Q1 現在の高校入試は、一般選抜と特色化選抜を合わせた全ての募集人員を一括で募集することで、受験生の出願・受験が複数回とならないように配慮しながら、受験生の多様な資質・能力を見取る制度となっています。現在の入試制度は適切なものであると思いますか。

※一般選抜とは、学力検査と調査書、面接を選抜資料の基本とし、各高校が必要に応じて作文、実技検査等を選抜資料に加える選抜です。

※特色化選抜とは、一般選抜と同じ選抜資料をもとに、各高校及び学科の特色に応じて選抜資料の配点等を一般選抜と別に定める選抜です。

【生徒】

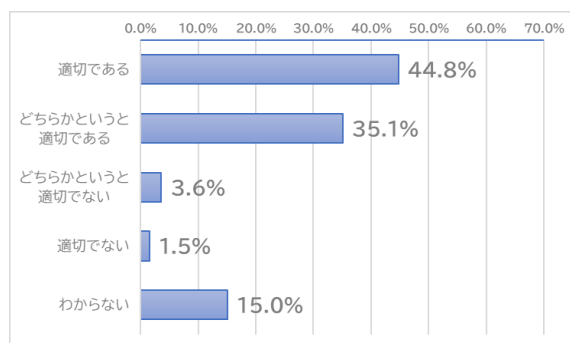
選択肢	回答数
適切である	1935
どちらかという適切である	646
どちらかという適切でない	69
適切でない	30
わからない	378



※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は84.4%

【保護者】

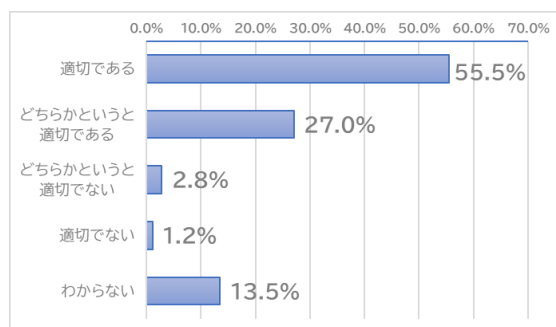
選択肢	回答数
適切である	994
どちらかという適切である	780
どちらかという適切でない	79
適切でない	34
わからない	334



※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は79.9%

【生徒及び保護者】

選択肢	回答数
適切である	2929
どちらかという適切である	1426
どちらかという適切でない	148
適切でない	64
わからない	712

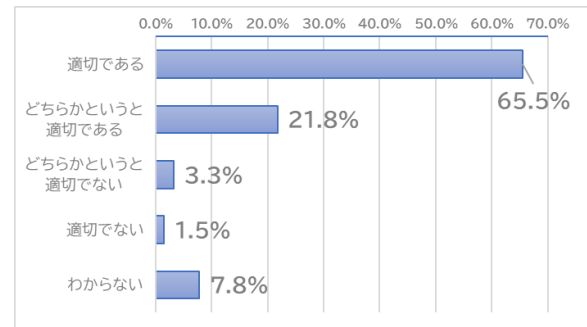


※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は82.5%

Q2 現在の入試制度では、受検生の中学校3年間の多様な頑張りを見取ることができるよう、特色化選抜において、部活動や地域クラブ等における活動状況等を点数化して、総合的な選抜の資料のひとつとしています。このことは適切であると思いますか。

【生徒】

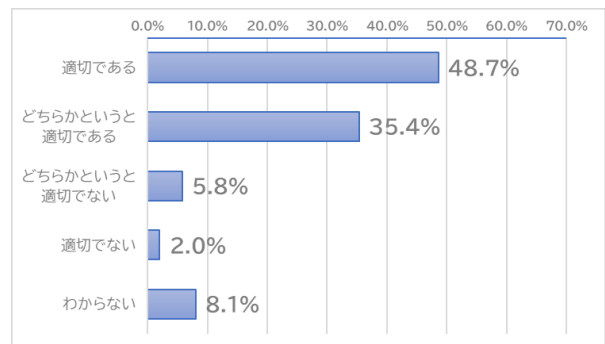
選択肢	回答数
適切である	2002
どちらかという適切である	668
どちらかという適切でない	102
適切でない	47
わからない	239



※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は87.3%

【保護者】

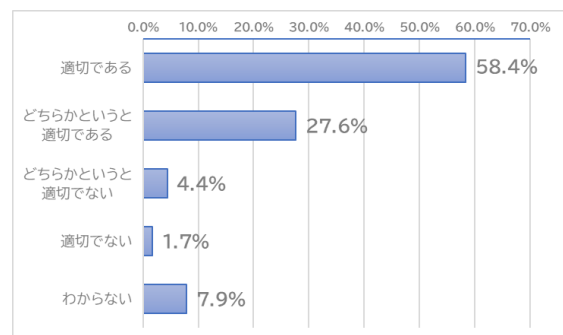
選択肢	回答数
適切である	1081
どちらかという適切である	787
どちらかという適切でない	129
適切でない	45
わからない	179



※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は84.1%

【生徒及び保護者】

選択肢	回答数
適切である	3083
どちらかという適切である	1455
どちらかという適切でない	231
適切でない	92
わからない	418

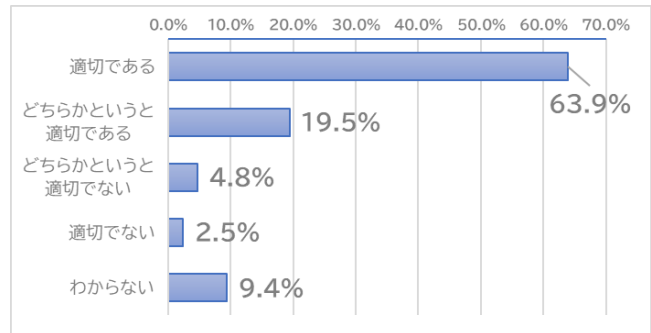


※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は86.0%

Q3 3月上旬に入学者選抜、3月中旬に再募集が実施されている現在の選抜日程は、適切であると思いますか。

【生徒】

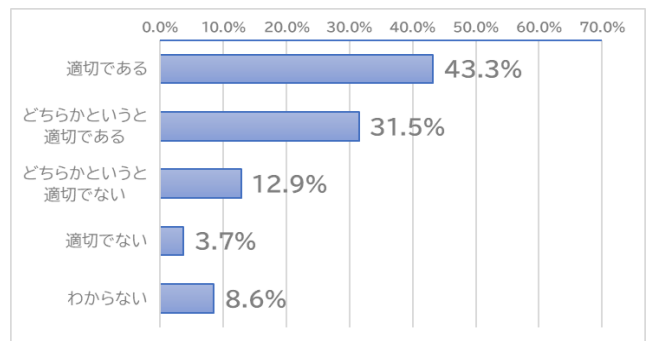
選択肢	回答数
適切である	1953
どちらかという適切である	596
どちらかという適切でない	146
適切でない	75
わからない	288



※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は83.4%

【保護者】

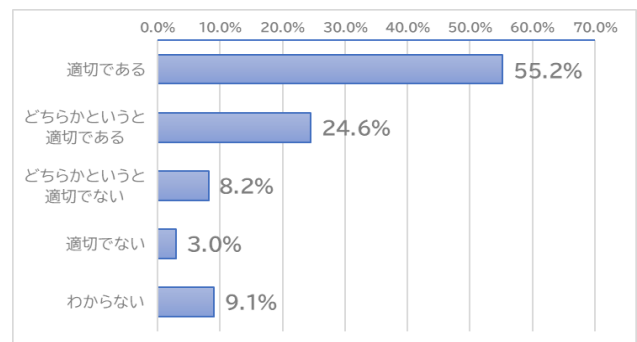
選択肢	回答数
適切である	961
どちらかという適切である	700
どちらかという適切でない	287
適切でない	83
わからない	190



※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は74.8%

【生徒及び保護者】

選択肢	回答数
適切である	2914
どちらかという適切である	1296
どちらかという適切でない	433
適切でない	158
わからない	478

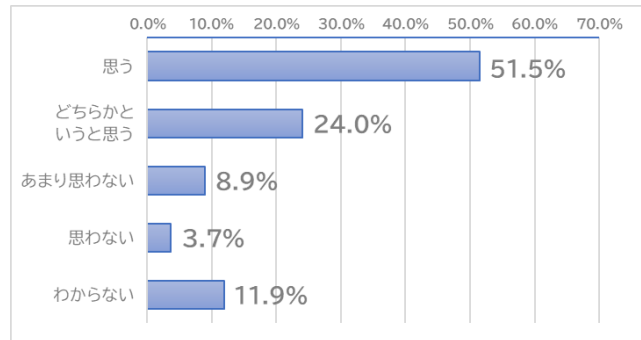


※「適切である」・「どちらかという適切である」を合わせた割合は79.8%

Q 4 現在の入試制度における再募集では、改めての出願と学力検査等の受検が必要です。
3月上旬の入学者選抜1回の受検で、第2志望の高校も併願して受検できるような選
抜制度があればよいと思いますか。

【生徒】

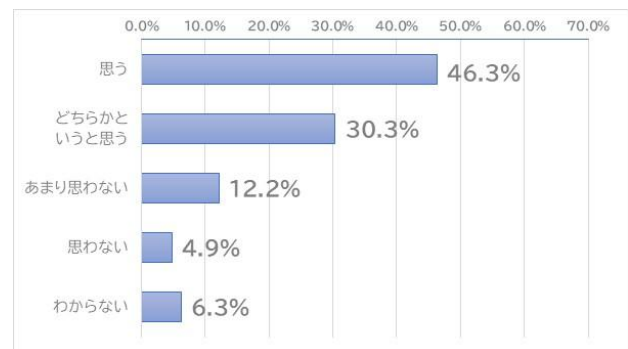
選択肢	回答数
思う	1575
どちらかというと思う	735
あまり思わない	272
思わない	113
わからない	363



※「思う」・「どちらかというと思う」を合わせた割合は75.5%

【保護者】

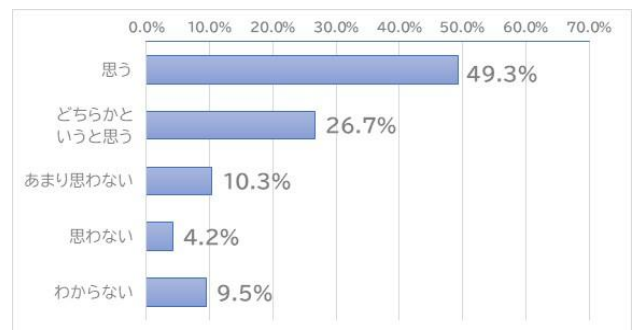
選択肢	回答数
思う	1028
どちらかというと思う	674
あまり思わない	271
思わない	108
わからない	140



※「思う」・「どちらかというと思う」を合わせた割合は76.6%

【生徒及び保護者】

選択肢	回答数
思う	2603
どちらかというと思う	1409
あまり思わない	543
思わない	221
わからない	503



※「思う」・「どちらかというと思う」を合わせた割合は76.0%

Q5 県立高校の入試について、どのような点を大切にしてほしいと思いますか。御意見を御記入ください。

(1) 生徒の回答の概要について

学力検査の得点を重視する意見が最も多く見られた一方で、部活動等を含む中学校3年間の取組や、面接を通して意欲等を見取るなど多面的評価を求める意見も多かった。また、特色化選抜について、透明性を高める必要性を指摘する意見も見られた。

①学力を見取ることに関する意見 (283件)

学力や点数、基礎学力をしっかりと評価してほしいという意見が最も多かった。入学後の学習についていける力を確認するため、入試では一定の学力を重視すべきだという意見が多く見られた。

【主な記述】

- ・やはり一番は学力ではないでしょうか。
- ・入試の点数。
- ・国英数3教科の学力を重視すること。
- ・基礎学力。
- ・入学してから授業についていけるか、学力をしっかりとみてほしい。
- ・学力を重点的に大切にしてほしい。

②中学校3年間の取組を見取ることに関する意見 (225件)

入試当日の結果だけでなく、中学校3年間における継続的な努力、学習への取組、学校生活、生活態度、部活動などを総合的に評価してほしいという意見が多く見られた。

【主な記述】

- ・中学校3年間の頑張りや全力でやっていたか、この点を大切にしてほしいです。
- ・入試当日の点数だけではなく、中学3年間の全体的な頑張りや努力を評価する視点を大切にほしい。
- ・中学校で取り組んできた点を大切にほしい。例えば委員会や部活動。
- ・生徒一人一人の中学校での活動や頑張ってきたことを見ることを大切にほしい。
- ・入試当日の点数はもちろん、中学校3年間の努力をきちんとみるように（部活や生徒会活動、文化祭や委員会での役割、取得した資格など）してほしい。
- ・日頃の努力や主体性、ボランティアなどへの取り組みも評価してほしいです。

③学力以外の点を見取ることに関する意見（181件）

人柄、人間性、個性、社会性、礼儀、生活態度、志望動機、意欲、将来目標などを見てほしいという意見や、面接を通して、その高校で学びたい理由や今後の目標を丁寧に見てほしいという意見が見られた。

【主な記述】

- ・学力も大切だけど中身も大切だと思う。
- ・人柄や素行の良さを重視した方がいいと思います。
- ・成績だけではなく人間性などの内面大切にしてほしい。
- ・一人一人の個性を大切にしてほしい。
- ・学力だけでなく、人柄を見ることを大切にしてほしい。

④面接・志望動機・意欲等を見取ることに関する評価（98件）

面接を通して、その高校に入りたい理由、高校で学びたいこと、将来の目標、受検者の意欲や考えを丁寧に見てほしいという意見が見られた。

【主な記述】

- ・面接をもう少し大事にしてほしい。対面で話す時間をもっと設けるべき。
- ・良い点数が取れなくても、その高校に入りたいという明確な理由やその高校での目標が決まっていて、強い意志のある人を見抜いてほしい。
- ・受検当日の点数のみならず、面接でのこの高校に入りたいという熱意を汲み取ってほしいです。
- ・その高校に入学することにおいて、どのような思いを強く抱き、どのような志を持っているのかという点。
- ・志望理由がはっきりしているかという点。

⑤選抜における公平性等を高めることに関する意見（80件）

選抜における公平性・公正性・平等性を確保することや、採点・評価基準、配点、合否判定の透明性を高めることを求める意見が見られた。

【主な記述】

- ・公平、公正であれば良い。
- ・公平に選抜すること。
- ・公平に合否を判断するという点。
- ・平等であることが一番大事だと思うので、新たな取り組みを行う際にも誰もが平等に受検できることが大切だということを忘れないでほしいです。

(2) 保護者の回答について

学力を見取することを基本としつつ、中学校生活での努力、意欲、活動実績、個性を総合的に評価してほしいという意見が見られた。一方で、総合的な評価に当たって、評価基準の分かりにくさや、公平性に対する疑問の意見も見られた。

①学力以外の点を見取ることに関する意見（187件）

学力検査の点数だけでなく、人間性、意欲、個性等を含めて面接等により総合的・多面的に評価してほしいという意見が見られた。また、単なる点数による選抜ではなく、本人の入学意欲、将来への目標、面接での受け答え、内面や可能性、学力だけでは測れない資質等を重視してほしいという意見が見られた。

【主な記述】

- ・学力試験の点数のみでなく、人間性を点数に加味してほしい。（部活や生活態度的なもの）
- ・もっと面接を丁寧に実施してほしい。
- ・点数や内申点だけでなく、面接で入学したいという意欲を汲み取ってあげて欲しい。
- ・たった一回の学力試験の結果だけでなく、受験生の個性を多角的に評価してほしい。
- ・受検生の人間性と可能性と意欲

②中学校3年間の取組を見取ることに関する意見（184件）

生活態度、部活動・委員会・ボランティア活動等、中学校における取組を適切に評価してほしいという意見が見られた。中学3年間の継続的な努力や、日頃の学習態度・生活態度が報われる制度を望む意見や、一方で、部活動やクラブ活動の有無・成果が評価に大きく影響することへの不公平感も含まれていた。

【主な記述】

- ・中学校生活でどのようなことに力を入れて頑張ったかを選抜の資料のひとつとする現在の制度を継続してほしい。
- ・学力検査はもちろん大切だが入試当日に体調不良等で全力を出せない事もあると思うので中学校からの調査書をもっと重視してほしいです。
- ・中学3年間の部活動や生徒会、ボランティア活動等も加味してほしい。
- ・学校生活を真面目に頑張ってきた生徒が認められるとよいと思います。
- ・部活動が地域に移行しつつある今、お金と時間に余裕がない家庭には活動が難しいと思います。そこを点数化するのは不公平な気がします。

③学力を見取ることに関する意見（170件）

学力検査問題の質、学力水準、合格最低ラインを重視してほしいという意見。学力検査の得点を基本とすべき、重視すべきという意見のほか、定員割れであっても一定の学

力基準を設けるべき、高校入学後に授業についていける水準を確保すべきという意見が見られた。

【主な記述】

- ・当日の点数を重視。
- ・勉強の結果が点数だと思うので、点数が全てでいいのではと思う。
- ・各高校、レベルをあまり落とさないで適正な点数を取れる人の合格を認めた方が良いと思う。
- ・定員に達しなくても、ある程度の点数で不合格ラインを決めてほしい。
- ・入試問題は毎年同じレベルで作成し、今年は難しいとか簡単だと言われたい様にしてほしい。

④選抜における公平性等を高めることに関する意見（107件）

制度の公平性及び透明性、評価基準の明確化に関する意見が見られた。特色化選抜、部活動及び地域クラブ活動の評価基準が分かりにくいという意見や、併願など制度面の選択肢を広げてほしいという意見も見られた。

【主な記述】

- ・公平性、透明性。
- ・特色化があっても良いと思いますが、自分の子供がどちらで合格になったのか、その辺のシステムが分かりづらい。
- ・学力検査、調査書の具体的ボーダーや選抜方法など、公表して欲しい。
- ・部活動やクラブ活動の点数化がわからない。入っていない人はプラス要因がない事になるので、不公平だと思う。
- ・県立の入試で第二志望もあり、第一志望に受からない場合に第二志望も受験できるシステムが必要。

⑤選抜の日程及び実施等に関する意見（107件）

入試日程、受検当日の体調不良・感染症等への配慮を求める意見や、入試から合格発表、入学説明会、入学準備までの日程が過密であることへの負担感が多く、時期を早めてほしいという意見が見られた。

【主な記述】

- ・合格発表後、入学説明会から入学準備とバタバタなので、併願受験で日程がまとまり、その後の日程に余裕ができるのであればその方がいいと思う。
- ・入試をもう少し早い時期にずらして入学準備をゆとりを持ってしたい。
- ・当日、体調不良時の受検体制。
- ・感染症への対応、追検査はいい制度だと思いました。

Q 6 県立高校の入試制度について御意見・御提言があれば御記入ください。

(1) 生徒の回答について

最も多かったのは選抜日程の前倒しや、卒業式前の合格発表、入学準備期間の確保に関する意見で、次いで選抜方法・評価基準の在り方に関する意見が多く見られた。全体として、受検生の心理的・時間的負担を軽減しつつ、評価の公平性や制度内容の透明性を高めたいという傾向が見られた。

①入試日程・合格発表・入学準備期間に関する意見（80件）

県立高校入試の時期を現在より早めてほしいという意見が見られた。入学者選抜の2月下旬の実施、卒業式前の合格発表、合格発表後から入学準備までの期間確保を求める意見が多く見られた。

【主な記述】

- ・日程を2月下旬にした方が2次募集などにも良いのではと思った。
- ・受験日を早めてほしい。卒業式までには合否が出てほしい。
- ・受験が2月の下旬で再募集も2月中の方が卒業式と被らず、3年生は気持ちに余裕を持って卒業できるから。

②特色化選抜・評価基準に関する意見（75件）

特色化選抜、部活動・地域クラブ活動、生徒会活動、面接、学力検査の重視など、選抜で何をどのように評価するかについての意見が見られた。特色化選抜や部活動の加点への不公平感、学力重視を求める意見がある一方で、学力だけでなく日頃の努力や人物面、面接を重視してほしいという意見も見られた。

【主な記述】

- ・特色化選抜が正直いらない気がする。結局学歴社会だから一般選抜を大事にしてほしい。
- ・特色化選抜における部活動の加点を無くしてほしい。
- ・学力だけでなく、日頃の努力も含めて評価する制度にしてほしいと思います。
- ・高校入学後、充実した高校生活を送ることができる人を見極めるために、面接をより重要視してほしいと思いました。
- ・定員割れだからといって、点数が低くても合格になるのはその学校のレベルを下げているので、合格ラインはある程度決めたほうがいい。

③情報提供・制度の透明性に関する意見（32件）

得点开示、ボーダーライン、出願倍率、選抜方法の説明など、受検生や保護者が出願

先を判断する材料を得やすくするための情報提供を求める意見や、特色化選抜と一般選抜の違いや、どのような基準で合否が決まったのかが分かりにくいという意見が見られた。

【主な記述】

- ・中学の先生、塾の先生、ネット情報による偏差値や合格点ボーダーが全部ばらばらで差がありすぎて、志望校を決めるのがとても難しかった。
- ・点数開示をインターネットで行えるようにしてほしい。
- ・各高校で、倍率と共にその年の入試合格ボーダーラインを提示してもらえたらと思いました。
- ・一般選抜と特色化選抜の高校ごとの募集内容がもう少し分かりやすく保護者と生徒に伝わるといいと思います。

④複数志望・併願・受検機会に関する意見（27件）

県立高校への第2志望や第3志望の出願や、受検機会の増加を望む意見が見られた一方で、併願制度に慎重な意見も見られた。また、受検生の選択肢を広げることや、学力に応じた進学先とのミスマッチを減らすこと、精神的負担を軽減することを期待する意見も見られた。

【主な記述】

- ・県立高校を第2志望まで受験できたらいいと思います。
- ・県内すべてで県立高校を2か所以上選べるようにしてほしいです。
- ・県立高校受験にも第1希望や第2希望があればより良いと思う。
- ・複数受験できたら嬉しいです。
- ・最初から第1希望から第3希望まで希望を聞いて、1回の試験で点数に応じて合格校を決定すべき。

（2）保護者の回答について

選抜日程を早め、合格発表後から入学準備までの余裕を確保してほしいという意見が多く、次いで、選抜方法の透明性・公平性、県立高等学校の併願制度、私立高等学校との日程・費用面に関する意見が見られた。

①選抜日程の前倒し、合格発表後から入学準備までの日程確保に関する意見（226件）

選抜や合格発表、再募集の日程を早めてほしいという意見が多く見られた。特に、3月に入ってから受検、卒業式、合格発表、合格予定者説明会、制服・学用品の準備が続くため、保護者・生徒ともに負担が大きいという意見が見られました。

【主な記述】

- ・選抜日程を2月に行うようにしたらいいと思います。3月だと慌しい感じがします。

- ・合格発表からの入学に向けての手続きや準備等が多く、時間を要する為、もう少し早い時期でも良いと思う。
- ・受験日程を早めて欲しい。入試と入学の間が少ないので、制服など入学準備の時間が足りない。
- ・卒業式翌日の合格発表よりも、卒業式前に全てが終わってる方がスッキリして卒業出来ると思うので2月中に可能なら受験出来る方がいいのかなと思います。

②選抜方法及び評価方法の透明性・公平性、特色化選抜に関する意見（133件）

選抜方法や評価基準をより分かりやすく、公平にしてほしいという意見が見られた。特色化選抜で合格したのか一般選抜で合格したのかを本人や学校が分かるようにしてほしい、特色化選抜の基準や配点を明確にしてほしい、調査書や部活動の実績の評価に学校や家庭環境により差が生じるのではないかという意見も見られた。

【主な記述】

- ・一般、特色化のいずれの選抜方法で合格したのかを、受検生本人や出身校が知ることができるようにはならないか。
- ・点数開示で一般選抜と特色化選抜のどちらで合格したのかも開示してほしい。
- ・特色化選抜の基準が明確ではないのが良くないと思います。
- ・中学校の調査書の得点が、入試における得点になるとと思いますが、中学校がつける評定にばらつきがあるので、少し不公平感を感じます。
- ・中学校を不登校だった生徒が県立高校に進学するには、内申点の面で非常に不利な状況にある。さまざまな理由で不登校となってしまった生徒でも高校での再スタートを応援できるような県立高校入試の制度があると良い。

③県立高校の併願、受検機会の拡大に関する意見（58件）

県立高校を1校しか受検できないことへの不安や、一発勝負の負担を軽減する仕組みを求める意見が見られた。具体的には、県立高校同士の併願、複数校出願、1回の学力検査結果を用いた第2志望校への合否判定等の意見が見られた。

【主な記述】

- ・実力があるにもかかわらず、不合格になることを恐れてランクを下げた高校を受験する子がとても多かったように感じます。第一志望、第二志望を併願して受けられるようにすることで、本当に行きたい高校に行ける子が増えるのではないかと思います。
- ・県立高校の併願制度の導入。
- ・県立高校を第2志望まで併願できるようにしてほしい。
- ・現在の制度であれば、県立高校は1校しか受けられませんが、私立ではなく県立で第2希望の高校も受けられる制度になってほしいです。
- ・一回の試験で合否が決まってしまうため、第2志望もうけられるように出来ると子ども

もたちの気持ちの持ちようやストレスも違うと思う。

④私立高校との関係、入学金・費用負担、県立・私立の進学選択に関する意見（54件）

私立高校の入学金納入期限と県立高校の合格発表日程との関係、県立不合格時や再募集時の費用負担に関する意見が見られた。

【主な記述】

- ・私立の入学金の支払い期日前に県立高校の合格がわかると、わが家のように収入が少ない家庭ではとても助かります。
- ・再募集が私立高校の入学締切以降になるので私立高校に入学金を支払わなければならないのが余計な支払いが負担になる。
- ・今は県立に合格したら、必ず県立に入学と決まっていますが、結果が出てから私立と選べるといいです。
- ・県立高校の入試の後に私立高校の入試を行ってほしい。7万円以上入学するかどうか分からない所に入学金を支払うのはどうかと思います。
- ・県立の合否、私立の合否がわかってから、生徒が行きたい高校を選べるシステムやスケジュールであってほしい。

⑤募集人員、定員割れ、各学校の学力水準に関する意見（50件）

募集人員の設定や定員割れに関する意見が見られた。少子化が進む現状に応じて募集人員を適切に調整すべきという意見や、定員割れであっても一定の学力基準に達しない場合は不合格とすべきという意見が見られた。

【主な記述】

- ・統廃合も進めていると思いますが、子どもの数に応じた募集人員を検討してほしい。年々倍率が低くなっているように感じるので。
- ・定員割れでも、基準学力不足（受験点数不足）は不合格にする。特に進学校の質の低下を懸念している。
- ・定員割れだとしても、学校ごとに最低限の点数は必要だと感じる。